News Release

経済産業省
北海道経済産業局

“ベンチャー型事業承継”の推進

～挑戦する北のアトツギを応援します～

2022年2月28日

北海道経済産業局　産業部　経営支援課

（本発表資料のお問い合わせ先）
経済産業省北海道経済産業局
産業部　経営支援課（井畑、渡部、村上、伊藤）
TEL：011-709-2311　（内線2577）
Email：hok-sogyo@meti.go.jp

目次

はじめに……P1

ベンチャー型事業承継の定義……P2

　事例：挑戦する「北のアトツギ」たち……P3

ベンチャー型事業承継推進の当局取組……P5

　取組１：トークイベント開催＆事例発信……P6

　取組２：「北のアトツギコミュニティ」をオープン！……P7

　今後の取組……P8

トピック：第２回アトツギ甲子園が開催されます！……P9

はじめに

- 道内では、中小企業経営者の高齢化及び後継者不在が社会的な課題になっており、これまで培ってきた経営資源の次世代への承継がますます重要となっています。
- 一方、親族内に後継者候補がいる場合でも、地域経済の縮小に伴う家業の将来への不安から、承継意思の確認を控える経営者や、家業を気にしながらも自身のやりたい仕事に就く後継者候補がいます。
- そこで、当局では地域に根ざした家業が持つ、人脈や信用、技術や資産など有形無形の経営資源を活用し、新規事業に挑戦する若手後継者（アトツギ）に着目。
  こうした取組を**「ベンチャー型事業承継」**と呼び、地域でのイベント開催や、道内アトツギ対象のオンラインコミュニティの立ち上げなどにより、 **”前向きな事業承継” を推進**してきました。
- この取組の成果として、全国各地のアトツギが新規事業アイデアを競う**「アトツギ甲子園」**では、**今年度道内から６名がエントリー**するなど、新規事業創出に向けた具体的な動きも出てきています。
- 当局では今後もアトツギによる新規事業創出を支援し、支援機関と連携して地域におけるアトツギ支援の一層の機運醸成を進め、**事業承継を契機とした若手後継者のイノベーションの取組を後押し**します。

ベンチャー型事業承継の定義　～アトツギによるイノベーション～

- ベンチャー型事業承継とは、**若手後継者（アトツギ）**が、先代から受け継いだ有形・無形の**経営資源を活用**し、リスクや障壁に果敢に立ち向かいながら、新規事業、業態転換、新市場参入など、**新たな領域に挑戦**することで社会に新たな価値を生み出すことを言います。
- 道内にも、事業承継を契機としてイノベーションに取り組むアトツギが多く存在します。

家業の経営資源

（人材・技術力・信用力など）

×

親族内承継の若手後継者

（アトツギ）

→

新たな領域への挑戦

（新規事業・業態展開・新市場参入など）

事例：挑戦する「北のアトツギ」たち

【津別町】
(株)山上木工

専務取締役
山上　裕一朗　氏

ド･ローカルから世界へ

1984年、津別町生まれ。大学を卒業後、工作機械メーカーを経て、2013年に3代目として家業に入社。近年は、町内の廃校を活用した**自社ショールーム「TSKOOL（ツクール）」**を立ち上げたほか、**「東京2020オリンピック･パラリンピック」のメダルケース製作事業者に採択**。海外展示会への出展など多種多様な展開を経て、2020年4月に**海外展開を見据えた地域商社㈱The Goodsを設立**。道東エリア産品の海外でのブランディングにも取り組む。

【札幌市】
一鱗共同水産(株)

営業部長
本間　雅広　氏

ブランディングと行動力で、仲卸〝選魚職人〟たちの未来を切り拓く

1989年、札幌市生まれ。大学卒業後、札幌市内の高校で２年間社会科教諭を務めた後、2014年に3代目として家業に入社。
新規採用や人材育成への危機感から広報戦略の策定に着手、**企業ブランドを再構築**するとともに、自社社員を「選魚職人」としてPRするほか、**飲食店等とのコラボレーション**を積極的に進めるなど、これまでの「鮮魚仲卸」の枠を超えた**新たな魚食の価値創造**に努める。

事例：挑戦する「北のアトツギ」たち

【札幌市】
(株)トリパス

代表取締役社長
杉本　光崇　氏

【北見市】
環境大善(株)

代表取締役社長
窪之内　誠　氏

明後日をおもしろくつくりかえる
～金属加工×北海道～

1981年、札幌市生まれ。大学を卒業後、2008年に3代目として家業に入社。2017年の代表就任後は、新たに**高い金属加工技術を活かしデザイン性に富むメタル製アウトドア用品「TRIPATH PRODUCTS」をリリース。**その開発に当たっては、マーケット指向のためのスキルアップや技術開発に取り組み、**BtoBからBtoCに事業領域を広げている**。

唯一無二のスペシャリティと可能性を持つ消臭液を、北見から世界へ！

1976年、北見市生まれ。大学卒業後、18年間、地元の事務機器販売会社に勤務。2016年に、2代目として家業に入社。2019年2月より現職に就任し、**研究開発に投資**。また、北見から世界に向けたビジョン発信のためにデザイン経営に立脚した**リブランディングを実現**した。自社の取り組みを環境の好循環をもたらす『アップサイクル型循環システム』と呼び、国内のみならず**海外での展開を目指す**。

ベンチャー型事業承継推進の当局取組

- 当局ではベンチャー型事業承継を北海道に広めるべく、2019年度から取組を進めてきました。
- 新規事業の創出を目標にしながら、イベント開催やコミュニティ形成等を通じて、**意識醸成・機運醸成や動機付け**を図っています。

フェーズ１ 意識醸成・機運醸成	フェーズ２ 新規事業への動機付け	フェーズ３ 新規事業創出
・アトツギが本音で語り合う**トークイベント**を開催 ・「北のアトツギstory」での**事例発信** （P6:取組１）	Facebookグループ「北のアトツギコミュニティ」 ・**オンライン座談会**開催による**意見交換** ・各種**施策情報の発信** （P7:取組２）	・ワークショップ開催等による**新規事業創出の支援** ・**各地域の支援機関との連携**による支援の多様化 （P8:今後の取組）

取組１：トークイベント開催＆事例発信

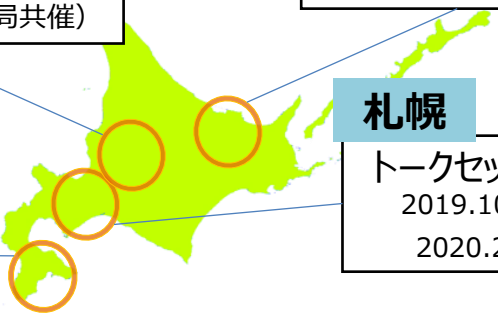
- 地域での機運醸成に向けて、道内のアトツギたちが**家業や新規事業、地元への想いについて熱く語り合うトークセッション**を開催。3年間で延べ105名のアトツギが参加。参加者からは、「先輩経営者によるリアルな体験談から、**学びやエールを受け取った**」との声が多く聞かれました。
- 当局特設サイト（北のアトツギstory）に、ロールモデルとなる道内アトツギ14名のインタビュー記事を掲載。**経験談や新規事業への想いを発信**しています。

空知
トークセッション 2020.10.26
2021.12.13
（空知信用金庫主催・当局共催）

オホーツク
トークセッション
2020.10.27

札幌
トークセッション
2019.10.24
2020.2.19

道南
トークセッション
2021.11.11



WEBサイト更新中

【URL】
https://www.hkd.meti.go.jp/hokik/atotsugi/index.html

取組２：「北のアトツギコミュニティ」をオープン！

- 道内企業の後継者（予定・検討中含む）を対象に、2021年9月に**Facebookグループ（北のアトツギコミュニティ）**をオープンしました。
- アトツギ向け支援メニュー・セミナー等の**情報発信**や、**オンライン座談会の開催**を通して、新規事業への動機付けを行っています。

◇オンライン座談会

- 2021年10月から、オンラインでの座談会を毎月開催しています。
- 先代との関係、新規ブランド立ち上げ、人材採用といったテーマを毎回決めて、アトツギ同士の意見交換を実施しました。

グループページはこちら

【URL】
https://www.facebook.com/groups/356228476218401/

今後の取組

- これまでの取組を発展させ、新規事業開発ワークショップ等を開催するなど、**アトツギによる新規事業創出を支援**します。
- 北のアトツギコミュニティ等での情報発信を通じて、支援メニューの活用をタイムリーに促します。
- 道内各地の挑戦するアトツギにインタビューを実施し、北のアトツギStoryでの事例発信を拡充します。
- 地域の金融機関や支援機関向けのセミナー開催等を通じて、各地の支援事例や先進的な取組を共有することで、**地域におけるアトツギ支援の機運醸成**を進めます。

トピック：第２回アトツギ甲子園が開催されます！

◇アトツギ甲子園とは
全国各地の中小企業の後継者・後継者候補(アトツギ)が、**新規事業アイデアを競うピッチイベント**（中小企業庁主催）

◇決勝大会の概要
エントリー総数138人の中から、一次・二次と、書類審査を経て、**決勝で登壇するのは15人前後のファイナリスト**。
新規性、社会性、実現可能性をはじめ、家業の経営資源を有効活用しているか、など、**アトツギならではの評価項目**で審査が行われ、グランプリが決定します。

【開催日】2022年3月12日（土）13:00～18:00(予定)
【会場】品川グランドホール　＊**オンライン視聴**も可能
【参加費】無料
【お申し込み・詳細】以下のアトツギ甲子園HPからご確認ください。
https://atotsugi-koshien.go.jp/event/kanran_moshikomi/

アトツギ甲子園に北海道から6名がエントリー！

(株)山ス伊藤商店

梅木 悠太 氏【 月形町】

マチを支えている人々に光を

(株)きたがわ

北川 佳祐 氏【室蘭市】

リアルが貴重な時代に向けて。
大切な人との思い出を彩るワイン。

(株)柴野電工社

柴野 渉 氏【帯広市】

『IoT』で低価格に実現できる監視システムを一次産業にも普及させたい！

お肉屋さんたどころ

田所 達朗 氏【洞爺湖町】

「買い物難民を救う非接触型スーパーマーケット」

(株)山上木工

山上 裕一朗 氏【津別町】

世界一の金属レス木製車椅子メーカーに挑戦

三晃化学(株)

渡辺 庸介 氏【札幌市】

自宅の庭で手軽に「ととのう」を日々楽しめるテントサウナ